

二〇一九 矢中の杜



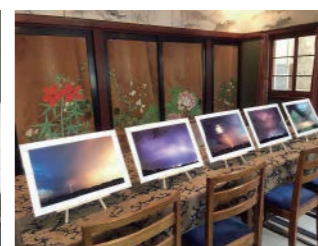
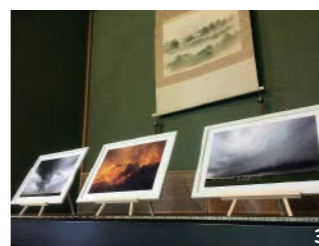
NPO 法人“矢中の杜”の守り人会報

青木豊写真展「荒ぶる空」

2019年5月4日(土・祝)、5日(日・祝)の2日間、ストームチェイサー青木豊さんによる写真展「荒ぶる空」が開催されました。荒天の中、雷雲を追跡し、主な被写体である雷を撮影する青木さんの写真は、畏怖を覚える美しさで、昭和の邸宅との見事なマッチングとなった写真展になりました。

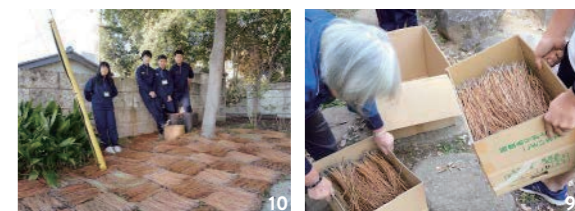
邸宅全体に、作品を展示していただいたほか、青木豊さんによるトークショーも両日開催され会場からあふれるほどの大盛況。これまで邸宅を知らなかった方にも、じっくり見ていただく機会となりましたし、私たちも、いつもと違う魅力を見つけられました。入場者数は2日間で227名。矢中の杜が雷だらけになった、何もかもが予想を超えた2日間でした。

(守り人N)



1当日は玄関前に行列ができるほどの大盛況 2-3 邸宅中に雷の写真が展示されました 4 青木さんのギャラリートークも多くの方が集まりました

5 発掘作業前の築山脇の小川跡 6 堆積した大量の土砂を取り除く高校生たち 7 作業後の小川跡。見事に敷石まで見えるようになりました 8 小川の始点になるところまで発見 9 9月から実習に来た2年生は「敷松葉」にチャレンジ 10 綺麗な市松模様の「敷松葉」が実現しました



つくばね学

本年度も、地元・筑波高校のオリジナルカリキュラムである「つくばね学」の実習生を受け入れました。なかには、北条小学校時代にクリーン作戦で矢中の杜へ来てくれていた生徒もいて、うれしい再会となりました。

邸宅の掃除・衣替えなど従来の活動はもとより、本年度は、懸案であった「築山脇の滝つぼ掃除と小川の発掘」そして「大王松の落ち葉を使つての敷松葉」の活動もしていただきました。体力自慢の前期実習生は、予定した

(守り人F)

以上の作業を自主的にを行い、小川の水源まで見つけてしまい、私たちも思わず感動してしまいました。後期実習生は、庭園内に大量に落ちていた松葉を地道に拾い集め、邸宅前の花壇にきれいに市松模様並べてくれました。この実習生たちの熱意と根気には、本当に頭が下がります。

矢中の杜へお越しの際には、是非彼らの努力の跡をご覧ください。

筑波山麓秋祭り2019 たてももの文様 + 藍染ワークショップ

2019年10月27日(土)、筑波山麓秋祭り2019の初日の企画として、講師に切り紙研究家の下中菜穂さん、ぶにの家の飯塚優子さんをお迎えし、2種類のワークショップを開催いたしました。

当日は前日の悪天候が嘘の様な気持ちの良い秋晴れと沢山の方にご参加いただきました。

午前中は、切り取りたい文様を全員で見つけながら邸宅内を見学(探検)しました。

文様を切り取ったら、床の間へレイアウトしてライトを当てて砂壁に浮かび上がる文様を愉しみました。

午後は、藍染へバトンタッチ。今回は「抜染」という手法を用いて、ミニトートバッグへ型に沿って白く染め抜きました。

最終参加者の皆さん同士、会話も弾みながらの作業となりました。ワークショップ終了後は中庭で作品展示をしながら記念撮影を行い、楽しんでいただきました。

(守り人H)



11 はじめに邸宅内の「文様探検」 12 各々好みの文様で切り紙を楽しみます 13 美しい文様が浮かび上がりました 14 切り紙で楽しんだ文様を、藍染トートバッグの型にします 15 素敵な作品が並びました 16 参加者の皆さんも、大満足の様子



17 惚れ惚れするような美しい組子作品 18 「よしだのたてぐ教室」は連日大好評 19 実際に手に取って触れられる多様な組子見本ワークショップも盛り上がりしました



矢中の杜の組子展

筑波山麓秋祭り2019の企画として、2019年11月2日(土)〜4日(月)の3連休に新潟の吉田建具製作所による「矢中の杜の組子展」が開催されました。期間中は、大小様々な組子作品が邸宅内の随所に飾られ、木と木が織りなす日本の「伝統美」、そして「装飾美」溢れる癒しの空間に、多くの方がご来場下さいました。2回目となる今回は、作品の展示・販売に加え、伝統的な麻の葉模様の組子コスターを作る「組子ワークショップ」と、吉田さんが矢中の杜にある建具や組子の解説も交えつつ、展示作品の解説をしながら邸宅内を巡る「よしだのたてぐ教室」が開催され、吉田さんの組子に対する熱い思いや技術などを直接感じ、知ることができたと、参加者にも大好評でした。守り人たちにとっても日本の伝統文化を学ぶ貴重な機会となったのではないのでしょうか。来場者の方々が帰り際「素敵でした」と嬉しそうに話す笑顔が印象的で、とても贅沢で楽しい3日間となりました。

(守り人S)

守り人満喫デー
「遠山記念館」見学

2019年11月17日(日)に、重要文化財に指定された埼玉県比企郡にある遠山記念館(旧遠山家住宅)を見学してまいりました。4月に重要文化財指定を記念して川越でシンポジウムも行われ、守り人数名も勉強を兼ねて参加しましたが、聴くほどに素晴らしく、ぜひこの目で確認したいと楽しみにしていました。

当日は15名の守り人が参加し大所帯での賑やかな見学会になりました。建物は広大で3棟からなる造りでしたが、手入れが行き届いており、案内の方の豊富な知識や受け答えの明瞭さにも感じるものがありました。守り人も打てば響くような反応を見せ、その熱心が伝わったのか案内の方の説明も熱を帯び、通常では入れない場所もご案内いただきました。また、矢中の杜と同じデザインの内紙が使用されているというご縁もあり、持参した未使用の内紙をお見せしたり、重要文化財に指定されてからの変化を伺ったりと大変有意義な時間となりました。

(守り人M)

できました。

プランの内容は、地域住民や地元の子供達、観光客などが緑に囲まれた空間で交流し、草花や土、木に触れながら楽しく様々な体験ができる広場を作る計画です。

当NPO会員でもある東造園さんによる施工で、邸宅内に残っていた大谷石を活用して新たな擁壁が完成し、その後東造園さんの指導の下、「庭倶楽部」の皆さんの手によって、ツツジ類を植栽し、芝桜も植え込みました。

今までに比べて、ぐっと明るく、風通しも良く、心地良い空間となった奥庭。今後の活用に期待も高まります。

(守り人I)

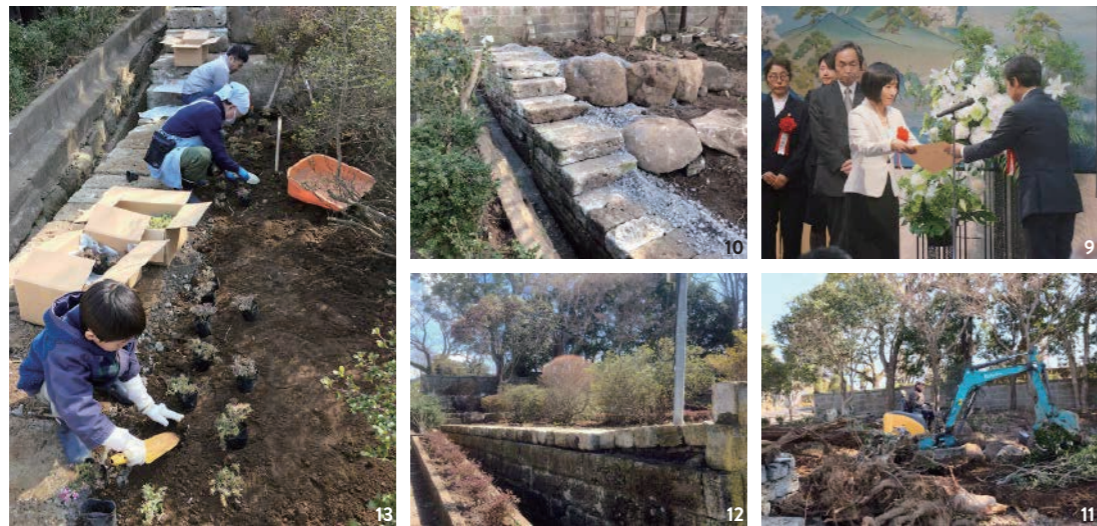
庭倶楽部発足と活動

広大な庭園を楽しみながら整備し、発展させるために、2019年5月に「庭倶楽部」が発足しました。会員・非会員を問わない庭好きが集まるサークルで、現在20名が活動しています。庭師の親方に剪定の仕方を習ったり、つくば牡丹園に土作りを学びに行ったり、邸宅に合う雰囲気を保ちながら、実験的に遊ぶ要素も重視し、それぞれがアイディアを出しながら庭園の変化を楽しんでいます。

通常の掃除で集めた雑草や落ち葉を



1 遠山記念館外観 2 解説に興味津々な守り人たち 3 矢中の杜から持参した襖絵を学芸員さんと確認 4 見学前に昼食をいただいた料亭では大賑わいでした



9 表彰式にて「国土交通大臣賞」受賞 10 崩落していた大谷石擁壁の補強工事の様子 11 工事を担う東造園さん 12 完成した大谷石擁壁 13 守り人たちで芝桜を植えました



14 老若男女が集う庭倶楽部 15 東造園さんに庭木剪定のポイントを教わりました 16 「つくば牡丹園」見学 17 奥庭に堆肥スペースを新設 18 立派な堆肥スペースができました



使った堆肥作りも9月に開始し、冬を越えて出来上がった堆肥で野菜の苗も植えました。3月には、奥庭の工事に合わせてサツキや芝桜の植栽や、石積みも行い、見違える風景になりました。新型コロナウイルスの影響で邸宅公開がお休みの期間にも、風が吹き抜ける気持ちの良い庭での作業がメンバーの心を癒しました。

つくばね学での小川の発掘や敷き松葉なども相まって、庭園の風景が大きく変わった1年だったのではないかと考えています。

(守り人Y)

サンダルワークショップ

昨年大好評だった革靴職人cicoさんによる革のサンダルワークショップ、2回目は2019年6月15日(土)に、大谷石に囲まれた地下室で行われました。

自分の足のサイズを測って、材料を用意していただける自分だけの唯一無二のサンダルとなります。革を切ったり削ったり、貼り合わせ、縫う、なかなか普段では出来ない体験に参加者の皆さんは作業に集中していました。

当日は生憎の雨模様でしたが、1日がかりの作業にも関わらず、楽しそうに手を動かしていました。終了後は出来上がったサンダルを試着し、皆さんに笑顔が溢れていました。(守り人H)



5 お子さんの参加は今回が初めてです 6 夢中で革を切ったり叩いたり縫ったり 7 各々の足にピッタリのサンダルが完成しました 8 笑顔溢れる参加者の皆さん

奥庭整備助成事業

東日本大震災と竜巻により被災し、崩落していた敷地北端の大谷石擁壁の補強・修繕と、未活用だった奥庭の整備を実現すべく、公益財団法人都市緑化機構及び一般社団法人第一生命財団主催による「第30回緑の環境プラン大賞 ポケットガーデン部門」に申請しました。プラン名は「地域の文化遺産の庭園を活用した交流と体験の広場」。

その結果、見事「国土交通大臣賞」を受賞し、奥庭の整備に着手することが

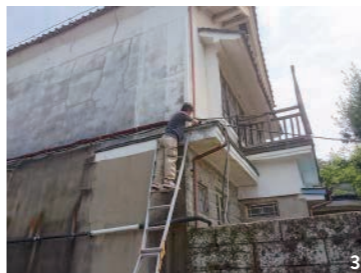
維持管理・修繕工事

今年度は、予定していた電気配線の確認と検査、必要な配線の交換を実施しました。その他にも急な修繕工事が多かったと思います。

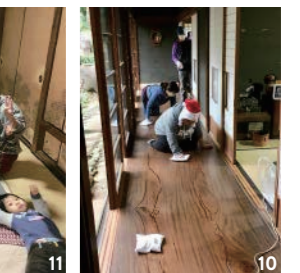
奥庭にあった作業小屋は倒壊の危険があり、台風シーズンが来る前に解体しました。中にあった道具類は運び出し、障子は販売して寄付を募りました。また、本館女中部屋の西側の壁に雨漏りが発生。壁の中を水が流れるような激しい雨漏りは、外壁の集水器周りが劣化していたのが原因でした。急いで修繕しましたが、昨今の気候の荒々しさは、要注意です。

また、別館2階部分が東側（中庭側）に傾き、利用制限をしています。伝統技法研究会の協力で、調査、検討を実施中です。

（守り人N）



1 本館女中部屋の雨漏りの様子 2 雨漏り対策工事 3 電気配線の確認と交換
4 奥庭の作業小屋解体工事 5 別館の傾き調査



6 古い障子紙を剥がすのは子どもの仕事 7 台所もピカピカに 8 一部屋一部屋綺麗にします
9 男性陣は雨樋掃除でも大活躍 10 雑巾がけは皆の楽しみ 11 皆で食べるごはんは一層美味しい

年末大掃除

毎年の締めくくりとなる大掃除ですが本年度は12月22日に開催されました。今回は日曜の開催となり今まで参加できなかった守り人や日頃多忙でなかなか来られない守り人も多く参加し、ベテランからお子さままで協力して主に本館メインで取り掛かりました。ずっと気がかりだった雨樋は男性陣にお願ひし、普段では手が届かないめなかなか手入れできない台所の棚の物たちを一つ一つ手をかけキレイにしました。また元に戻していきます。居間や床の間のある座敷の欄間や壁の汚れを落とし、掘ごたつの拭き掃除が終わる頃、毎年恒例となっている廊下の糠ぞうきんがけが始まり大賑わいとなりました。

今回はお昼の賄いに理事長特製の2種のカレーが登場し、大変美味しくお代わりする人が続出し、あっという間に時間が過ぎていきました。

最後は守り人でもあるチャイカさんの美味しいお菓子でお疲れ会も大いに賑わいあつという間に時間が過ぎていきました。

（守り人M）



邸宅利用

矢中の杜では、邸宅の保存活用のために貸し出しを行い、いろいろな公演やイベント等に利用していただいています。

今年度は、古典朗読ワークショップや浪曲口演会など、計7回の利用がありました。主催された方の中には、「ワークショップをするなら是非、矢中の杜で！」という思いの方も多くいらっしゃり、嬉しい限りです。

邸宅利用は、「その季節ならではの矢中の杜」も満喫していただける、良い機会になったと思います。来年度も、より多くの方に矢中の杜を楽しんでいただけるよう、引き続き利用貸し出しを行っていく予定です。（守り人F）



12 クリスマスリースのワークショップ 13 古典朗読ワークショップ
14 浪曲口演会 15-16 マンガ製作ワークショップ

17 ついに矢中の杜も朝ドラデビュー！

18 公開の合間にお抹茶体験を楽しむ守り人たち 19 掛け軸の点検、整理も行いました



ロケ地利用

2つのドラマのロケ地として利用されました。1つめはテレビ朝日スペースナルドラマ「ラッパーに囃まれたらラッパーになるドラマ」。コミカルなゾンビドラマで、2019年7月12日（金）、13日（土）夜11時15分から2夜連続で放送でした。もう1つはNHK連続テレビ小説「エール」。お見合い会場として使われ、第28話・2020年5月6日に放送でした。ゾンビからお見合い会場まで、矢中の杜の魅力の幅広さを見た想いです。（守り人N）

日曜公開のトライアル

2020年1月から試験的に日曜日の邸宅公開を始めました。メディア効果等もあり見学者も増えてきて、各方面から待ち望まれた日曜公開です。しかし、スタッフにとっても無理のないように、午後のみ（13時～16時）でガイドツアーは無しとしました。同時に、土曜日公開時のガイドツアーも11時と14時の2回に減らしての試みでした。

ひっそりと周知したのみで開始前はどうかと心配しましたが、土曜日と同程度の方に毎週いらしていただきました。自由見学のみですので、スタッフは通常行き届かない邸宅の維持管理も実施しながらの対応で、掛け軸の整理など土曜日とは少し違った様子も見えていただいて、その点も好評だったようです。3月からの公開お休みで、また通常に戻すときにどのような形にするか再考の必要がありますが、日曜公開の需要も十分に感じた試みでした。（守り人Y）

活動履歴

年	月	日	場所	活動内容
2019	4	7	ぶにの家	えのぎ染ワークショップ (2018年度の榎伐採クラウドファンディングのリターンとして)
	4	12	矢中の杜	つくばね学前期(～7/5)
	4	28	川越	遠山邸シンポジウム参加
	5	4～5	矢中の杜	青木豊写真展「荒ぶる空」
	5	18	矢中の杜	邸宅利用「古典朗読」
	5	24	矢中の杜	筑波大学演習
	5	26	矢中の杜	第9回総会
	5	27	矢中の杜	庭倶楽部発足 初回活動
	6	11	矢中の杜	ロケ地利用「ラッパーに噛まれたらラッパーになるドラマ」
	6	15	矢中の杜	邸宅利用「浪曲口演会」
	6	15	矢中の杜	サンダル作りワークショップ
	6	22	矢中の杜	マクラメ編みワークショップ (2018年度の榎伐採クラウドファンディングのリターンとして)
	7	11	矢中の杜	奥庭 作業小屋解体工事
	7	14	つくば牡丹園	守り人満喫デー「つくば牡丹園見学」
	8	11～18		夏期休業
	8	17	矢中の杜	別館食堂杉戸絵修復作業
	8	24	矢中の杜	ポケットフレームで作るサマーリースワークショップ
	9	13	矢中の杜	つくばね学後期(～2/7)
	9	14	矢中の杜	邸宅利用「古典朗読発表会」
	9	21	矢中の杜	邸宅利用「マンガでトランスボーダー」
	9	22	矢中の杜	電気配線工事(事前調査:6/16、7/14、8/11)
	10	26～11/4	矢中の杜	筑波山麓秋祭り
	10	26	矢中の杜	たてもの文様+藍染ワークショップ
	11	2～4	矢中の杜	矢中の杜の組子展
	11	17	遠山記念館	守り人満喫デー「遠山記念館見学」
	12	8	矢中の杜	邸宅利用「クリスマスリースワークショップ」
	12	14	市民ホールつくばね	つくばね学発表会
	12	22	矢中の杜	年末大掃除
	12	23～1/9		年末年始休業
	12	25	矢中の杜	ロケ地利用 連続テレビ小説「エール」
2020	1	19	矢中の杜	日曜日の邸宅公開 トライアル開始
	1	25	矢中の杜	別館2階構造調査
	2	8～3/15	矢中の杜	奥庭整備工事(緑の環境プラン大賞助成事業)
	3	15	矢中の杜	邸宅利用「ディオゲネスクラブ」
	3			新型コロナウイルス感染拡大防止のため邸宅公開の一時中止

主なメディア掲載

年	月	日	掲載誌など名称	掲載内容
2019	5	3	読売新聞 地域版	青木豊写真展「荒ぶる空」紹介
2019	11	1	広報つくば イベント情報	「矢中の杜」ガイド育成講座
2019	11	26	産経新聞	「緑の環境プラン大賞」受賞式紹介
2020	3		Couta vol.181 3月号	「御殿まるごとマーケット2020」紹介
2020	3		いばナビ	「御殿まるごとマーケット2020」中止告知
2020	3		都市の緑三勝表彰式報告書	(公財)都市緑化機構・(一財)第一生命財団 受賞事業紹介
2020	3		建築士会連合会 女性委員会 HP	「矢中の杜」邸宅の紹介
			「魅力ある和の空間ガイドブック」 (WEB改訂版)	

NPO 会員数(令和2年3月31日現在)

正会員 18名 / 友の会会員 22名 / 賛助会員 9名 計49名